

油脂製品価格改定について

昭和産業株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長執行役員 新妻一彦)は、2022年3月1日納品分より、家庭用油脂製品と業務用油脂製品の価格を下記の通り改定することといたしましたのでお知らせいたします。

2020年後半以降、世界的に旺盛な油脂需要、油脂製品の主原料である大豆・菜種の生産地(アメリカ・カナダ)での高温乾燥・減産懸念を主な要因として、穀物・植物油相場は上昇してきました。そのため大豆油、菜種油をはじめとする油脂の原料コストが上昇し、これまで昨年3月1日、6月1日、8月2日、11月1日納品分より合わせて、140円/kg以上、2,300円/缶以上、計4回の価格改定をお願いしてまいりました。

その後も、カナダ産菜種の大幅な減産の確定、7年ぶりの高値をつけた原油相場の影響などにより、菜種先物相場は上昇し、高値水準を維持しております。また熱波の影響を受け、昨秋に収穫されたカナダ産菜種が10月から輸入されておりますが、記録的に低い油分値が確認されております。また円安の進行もあり、さらに油脂コストが上がる状況となっております。

大豆につきましては、現在生育中のブラジル・アルゼンチンにおいて、ラニーニャ現象の影響とみられる高温乾燥の天候と、減産懸念を材料として、シカゴ大豆相場も再び上昇してきました。

またパーム油につきましては、引き締まった需給のまま、産地が減産期となる雨季に入り、さらに新型コロナウイルス再拡大による集荷労働者不足も相まって相場が上昇しております。

このような状況の中、最大限経営努力により上昇するコストの吸収に努めておりますが、下記のとおり価格改定せざるを得ないことをご理解いただき、何卒ご協力賜りますようお願い申し上げます。

記

1. 実施時期

2022年3月1日納品分より

2. 対象商品、及び改定価格

家庭用食用油	40円/kg以上
業務用一斗缶製品(16.5kg)	700円/缶以上
ミニローリー	40円/kg以上
加工用バラ	40円/kg以上

以上

<本件に関する報道関係の方のお問い合わせ先>

昭和産業株式会社 経営企画部 コーポレート・コミュニケーション室 担当:赤松
TEL:03-3257-2042